

今後の「私のしごと館」のあり方について（概要） （私のしごと館のあり方検討会報告書）

I 私のしごと館の概要

私のしごと館は、中高生を中心に職業キャリア教育支援を行うため、職業体験や職業情報の提供等、職業に関する様々なサービスをワンストップで提供。

II 本検討会の検討経過

- | | | | |
|--------|---------------------------|------------------|--------------------------------|
| 3月6日 | 第1回検討会 | 私のしごと館の概要説明、論点提示 | |
| 27日 | 第2回検討会 | 委託の視点・考え方について議論 | |
| 4月9日 | 第3回検討会 | 委託の視点・考え方について議論 | |
| 5月21日 | 行政減量・効率化有識者会議に委託の考え方につき報告 | 9月1日 | 民間委託開始（委託先：株式会社コングレ。委託期間：2年間。） |
| | | | |
| 11月14日 | 株式会社コングレから委託状況を聴取 | | |
| 12月1日 | 第4回検討会 | 報告書を議論 | |

III 民間委託の実施及びその評価

委託先である株式会社コングレの取組については、5年後の収支率5割という目標に向け、支出削減（平成19年度と比べ、3割の削減見込み）を中心に着実に努力していると高く評価。一方、収入の増大については、株式会社コングレの取組不足を原因とするのは適当でないものの、厳しい状況。また、職業体験の充実を図るための努力が認められ評価できる。

IV 行政減量・効率化有識者会議等の意見

行政減量・効率化有識者会議は、私のしごと館について、「『私のしごと館』業務は廃止。施設については直ちに取壊すことなく、一定期間をかけ、望ましい利用形態や売却先を検討。」と指摘。

V 存廃について

最近の指摘や世論の動向を踏まえると、当初の5年後の収支率5割という目標を前提とすることは国民の理解を得ることが困難。今後の私のしごと館事業については、さらなる国費（事業主拠出の雇用勘定）を支出しない、即ち国の事業としての私のしごと館事業を廃止するという前提に立つ必要。

ただし、公募入札を経て委託を受けた株式会社コングレとの関係において、契約の重大な変更を行うことは、国への信頼を損なうことになり、避ける必要。また、巨額の解体費用や違約金等更なる費用の投入を招くことのないよう、今後のあり方について委託契約期間中に十分な検討を行う必要。

具体的な対応としては、次のような点について最大限の配慮が必要。

- ① 委託契約期間（平成22年8月まで）の遵守
- ② 建物を取り壊さないこと（更地鑑定価格37億円、取り壊し費用29億円）
- ③ 建物の有効活用に向けた検討（地元関係者の意向を踏まえ、調査・検討の実施）